

マーケットの動き（2023年3月6日～3月10日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で下落（円高）しました。FRB（米国連邦準備制度理事会）パウエル議長の利上げペース加速を示唆する発言を受け、米ドルは年初来高値となる138円台付近まで一時上昇しました。その後、米国中堅金融グループ傘下銀行の経営破綻などから米国金利が低下し、米ドルは134円台前半まで下落して週を終えました。ユーロは前週末比、対円で下落した一方、対米ドルでは上昇しました。

投資環境見通し（2023年3月）

米ドル、ユーロともに円に対してレンジ内での動き

日銀が現行の金融緩和策を修正しFRB（米国連邦準備制度理事会）が利上げを停止するとの一部の見方が円高圧力として残ります。一方、米国景気については個人消費に支えられ、物価抑制に対処するため利上げを継続するとの観測が浮上しています。また、欧州景気は暖冬による天然ガス価格下落に支えられ堅調とみられることに加え、日本の構造的な貿易赤字による円安圧力もあり、レンジ内で推移するとみています。

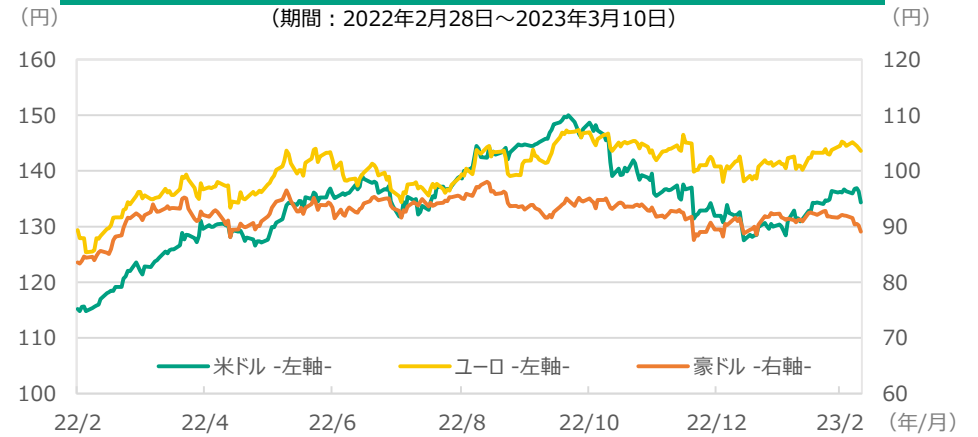
	3月10日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	134.34	▲2.01	3.03	▲8.11	18.37
ユーロ/円	143.57	▲0.92	3.38	0.52	15.79

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

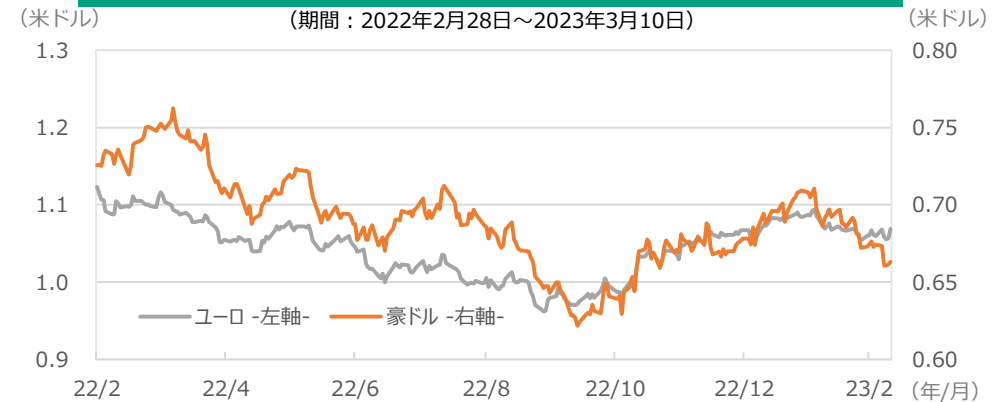
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202303_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>